

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020050

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 環境の保全	事業優先度	A	
単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	#N/A	
事業指標	資源ごみの適正処理率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 容器包装リサイクル法	
住民協働		関係個別計画名	有 一般廃棄物処理基本計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	資源廃棄物のうち、有償売却となっていないびん・その他プラスチックの処理について紋別市リサイクルセンターに搬入し、中間処理する。処理に係る契約を締結し、応分の処理負担金を支出するものである。	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	
	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	41,177	7,891	7,891	8,752	8,752	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	6,125	1,235	1,235	1,235	1,420		
一般財源	35,052	6,656	6,656	6,656	7,332	7,752	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	33,131	7,681	7,939	8,781	8,730	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	5,954	1,235	1,473	1,961	1,285		
一般財源	27,177	6,446	6,466	6,820	7,445		
関 連 事 項	特定財源の名称	資源廃棄物売払収入	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	搬入量 200t	搬入量 200t	搬入量 200t	搬入量 200t	搬入量 200t
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	101%	111%	100%	0%
	全体達成率	19%	38%	59%	80%	80%	
	備考欄						

事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業	評価者	管理職 職氏名	住民生活課長	新谷 朋人
		評価者	作成者 職氏名	環境衛生係長	武藤 知憲

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出する資源ごみ	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	資源ごみの適正処理費		
【抱える課題やニーズは】	適切な資源ごみの分別及び収集		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化及びリサイクル率の向上		① 資源ごみの処理量	目標年度	平成28年度
				目標値	330 t
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な収集及び処理	②	実績値	330 t	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	紋別リサイクルセンター施設運営費及び維持管理費の支出	町単独では、容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な処理が困難であるため、紋別市との協定に基づく負担金を支出し、資源ごみの搬入及び処理を実施しています。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	容器包装リサイクル法に基づく資源ごみの適正な処理は、町単独では困難である状況においては、広域による処理が必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	一般家庭から排出される資源ごみについては、全て適正な処理が行われているため、有効な事業であると判断します。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	広域による処理については、紋別市のリサイクルセンターに搬入し、全て適正に処理されており、ごみ処理手数料は、本事業の財源に充当しています。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	資源ごみの収集処理は、町内全域を対象としていることから、公平性は保たれていると判断します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
資源ごみ売却先業者が扱えない物については、町単独処理も困難であるため、今後も計画通り事業を進めることが適当であります。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
有償売却できない資源ごみについては、引き続き、紋別リサイクルセンターによる処理が必要と考えます。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止